

神社の杜（五十一）

「ん？ケヤキが変だぞ」

片柳 茂生

御岳山の表玄関、御嶽駅の目の前に流れる多摩川。水の流れと岩の織り成す風景、それに川岸を彩る樹々、御岳渓谷は四季を通して訪れる観光客の目を和ませてくれる美しい所です。今回は、この渓谷の河岸に数多く生えている榎についてお話ししましょう。

榎は神社の境内や旧家の屋敷林として植えられており、青梅街道や五日市街道沿いにある樹の中では、公の保存樹に指定されているものも多いですね。また街路樹としても植えられており、誰もが知っている身近な樹といってもよいでしょう。御岳渓谷に生えているその榎に今異変が起きているのです。

今年の夏のことでした。八月なのに渓谷のケヤキの葉が茶色になっているの気がつきました。樹木の中でも紅葉

するのが早い方の種ではありますが、それにしても早すぎますし、ましてや落葉するには早すぎます。そんな状態の木は一本や二本ではではなく、渓谷沿いに立つ榎のほとんどがこの状態なのです。天候に異変はあったか？いやいや榎以外の樹木は普通です。榎だけ一斉に枯れちゃったのかと思います。



イラスト：紺野美織

ました。昨年枯れたと思った榎も普段通り芽吹いています。ところが異変は続いていたようです。七月頃、大雨の後瀧本あたりの道沿いにたくさん榎の枯れ葉が溜まっているのを見ましたが、その時は「なんで」程度にしか思っていりませんでした。そして八月末になると状況は一変。昨年と同じように茶色になった榎が目立ちます。これは深刻な状況だなと思つてビジターセンターに聞いてみました。

実はこの現象、十年ほど前から見られていたようです。原因はヤノナミガタチビタママシという甲虫による被害でした。この虫の被害にあった樹は真夏であっても自ら葉を落として我が身を守るようです。時には一年に二回も三回も落葉と季節外れの芽吹きを繰り返すこともあり、そのため衰弱して立ち枯れしてしまう樹もあるようです。

最初に確認されたのは日向和田・梅郷・二俣尾地区の多摩川沿いだそうですが、今ではその範囲を広げ、軍畑大橋を中心に流域約十六キロまでになり、埼玉県の名栗渓谷にも被害が及んでいるようです。実はこの範囲多摩川の本流だけにとどまらず支流にも及んでおり、今年はずいぶんケープルカー滝本駅近くでも見られるようになってしまいました。

御岳山には国の天然記念物「神代榎」があります。樹齢千年と言われるこの榎も近年樹勢が弱くなっているように見受けられます。こんな状態のところに虫がついてしまったらと思うと・・・被い給へ清め給へ・・・

あ と が き

今年の夏は台風・大雨・猛暑と異常気象に見舞われた夏でした。御岳山でも三十度を越す日が続き、青梅では観測史上初の四十度を超す高温となりました。西日本豪雨や台風では大変な被害に合われた方も多く、皆様には心よりお見舞い申し上げます。

またこの度発生した北海道胆振東部地震により、被災された皆様、そのご家族様におかれましては心よりお見舞い申し上げます。そして被災地等におきまして、

救援や復旧作業などで尽力されている方々に対し、深く敬意を表するとともに、被災地の皆様の安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、三年ぶりに伝法が行われ、三名の新メンバーを迎えることができ大変嬉しい限りです。若い三人共々宜しく願います。
上長洲中里御嶽講中 元講元新海博司様、齋藤慎一先生、写真家鶴巻育子様、玉稿を有難うございました。

平成三十年 十月 一日発行

編集 武蔵御嶽神社
TEL 〇四二八(七八)八五〇〇
FAX 〇四二八(七八)九七四一

印刷 (株)成和印刷
http://www.musashitakejinja.jp/